瀬戸市テニス協会
会報 STK
Setosi Tennis Kyokai
since 1973
2019年12月号 No. 140

←協会ロゴ＆エンブレム

2016年7月に制定。協会員・加藤隆久氏の力作。「ボール・ラケット・汗」がモチーフ。中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表す。「ボールを追って流そう爽やかな汗！」。1973は協会創立年。半世紀近い歩み。

時の顔

尚弥、最強王者

世界バンタム級王者戦で尊敬するドネア（比・36歳）を下した井上尚弥（IBF）。「右目の傷は勲章」と怪物。神奈川出身・26歳。19戦全勝（16KO）。

19年を総括

協会創立記念大会・総会開く

協会は12月8日（日）市民公園Aで創立記念大会、体育館で19年総会を開催。記念大会には約60人が集まり、男女ダブルスで親睦・交流を深めた。総会では運営、業務、会計各部の年間活動を拍手で承認。稲垣将樹会長を3選した。【2面へつづく】

協会創立記念大会に集まった協会員たち（12月8日・市民公園Aコートで）

体育館での総会。中央は年間総括に立つ稲垣会長

親睦ダブルス 世代交流も

午前9時、市民公園Aに協会員が続々集合。受付の後、6面に別れて男女別に親睦のダブルス。老若入り混じっての熱戦に世代間交流も深めた。

初対面のペアでも「よろしく！」のひと言でコンビネーションばっちりのペアや70歳代組がヤングペアを破る番狂わせも。4ゲーム先取の短期決戦だったが毎戦ペアを替えて和気藹々ながらも熱戦。

親睦ダブルスは正午前に一旦中断。全員、体育館で移動して総会。午後1時からは再び自由にダブルスなどを楽しんだ。

総会前後はダブルスゲームで親睦・交流（市民公園A）

「服装規定順守を」会長訴え 各部の活動を承認

12時05分開会の19年総会は加藤徳太郎議長を選出。

稲垣将樹会長が年間総括でまず磯村和信運営部長、石川均会計を慰労。運営上の感想として

①大会は8時半開始とした大会を含め、天候に恵まれて全て予定通り開催できたのは幸い

②協会員無料の大会は、「ドロー会議までに会費納入のない場合は会員として扱わない」としてきたが、今後は「申し込み締め切り日までに」と変更するとした（2月理事会で決定予定）

③服装規定順守を――秋季大会で男子違反者に対し、「次のゲーム台では着替えて」と指示したが、当人はペアとともに黙って帰ってしまうという事例があったのは遺憾

と総括。運営上の問題点などは各部報告に譲った。

各部の年間活動報告に移り、運営部、業務部、会計の順でそれぞれ責任者が1年を振り返って報告。討議の後、いずれも拍手で報告を承認した。

（2面に詳報）

振り込み用 2口座

年会費 早めに納め 春待とう

年会費の振り込みは次の金融機関でお願いします。春季大会は4月下旬。

◇

◆瀬戸信用金庫　店名＝山口支店　店番＝044　普通貯金口座番号＝0852209　瀬戸市テニス協会

◆ゆうちょ銀行　店名＝二〇八　店番＝208　普通貯金口座番号＝1411190　瀬戸市テニス協会

「8時半集合」の周知図る

総会は出席者多く、会員席は机なし・イスのみ。本人出席84、委任104の計188人で成立。加藤徳太郎議長を選出。会長の年間総括に続き運営、業務、会計の各部が活動報告。いずれも拍手で承認した。

12月8日、体育館での総会。弁当を摂りながら各部の報告を聞く協会員。例年よりも出席者多く84人

運営部報告

磯村和信運営部長の活動報告要旨、次の通り。

▽昨年総会で要望のあった市民公園Bコート(特に9、10番コート)のサーフェス補修を市へ申し入れ。オムニの部分張り替えにより修繕完了

▽運営効率化への「8時30分集合大会」は、ほぼ円滑に実施。今後、集合時間の区分、受付場所などを検討の上、統一化も含め一層の周知徹底を図る

▽毎大会、運営協力者が不足の現状。長時間の全くのボランティア精神頼みの状態。奉仕のままでよいか、担務への何らかの具体的謝礼が必要ではないか――財政的観点も踏まえながら検討を要す

▽市民公園Aコートのネットなどの傷み、水はけの悪さの改良などを市へ要望することを検討

会員増273人

会計報告&監査

石川氏の会計報告は収支資料3枚を添付。報告要旨は次の通り。

▽年初の繰り越し金64万円

▽会員数は昨年の267人のうち204人が継続、新規加入69人。2020年の会員数は前年比微増の273人

▽臨時の大型支出は、吸水ローラー(5万円)、PCプリンター(1万円)程度

▽高校3大会(いずれも収支プラマイゼロ)を含め、総収入は269万円余、総支出は177万円余。差し引き残高92万円余(前年比約28万円増)。92万円が次期予備費となる

▽この5年来、繰り越し金は着実に増加。財政はやや余裕のある健全状態が進んでいる

「相違なし」と監査報告

久米孝幸・会計監査は、「本日午前、監査の結果、会計報告の通り、間違いありません」と監査結果を報告した。

業務部報告

会報 年6号 練習会27回

鈴木部長(副会長)が報告。部員5人。業務内容は①ナイター練習会の確保と運営②会報「STK」の発行③総会・理事会の案内状発送など。加藤副部長は高校部会長を兼務し高校3大会の運営を担当。

▽練習会は4月から10月の水曜夜を中心に月4回。今年は計27回確保。雨で流会もあったが25回前後実施。

▽会報は135号(3月)から今総会後の140号(12月)まで年間6号を発行。ホームページ掲載(担当者・石川)。

▽専らHP利用で「郵送不要」の会員が約3分の1。大会結果を速報するHP随時掲載はせず、全8面完成後にまとめて編集者からHP担当者へ渡す。郵送約170痛。ほかにグループ配布を併用。

稲垣会長3選

協会規則第10条により、役員のうち総会で選出する規定の次期会長は、稲垣現会長のほかに立候補はなく、推薦を募った。「会長続投!」の声が挙がり、満場一致の拍手で稲垣会長を3選した。

「体の続く限り…」、「コートで倒れれば本望」とかの頼もしい稲垣会長、「来年もよろしく」とあいさつ。

◆その他 質疑

「Web申し込み可」困難

Q:大会出場に体育館窓口だけでなく、市外の遠方会員のために、「Web申し込みもOK」は検討しないか?

A:当協会は「瀬戸市スポーツ協会」(旧・市体協)傘下。「市民の健康増進」の目的に沿い、市から大会コート代免除などの特典を享受。瀬戸市民原則優先で「Web申し込み可」は困難。

会報8頁完成後、HPへ

Q:大会後、結果などホームページへの迅速な掲載を望みますか?(HP担当者からの問い)

A:(出席者全員が挙手で賛否)「結果をすぐ載せてほしい」よりも、「8ページ揃ってから掲載でよい」が圧倒的多数。

ラゲット!だ チョキの岡野

辞退の稲垣会長㊨にじゃんけん勝ち、ラケットをゲットした岡野㊧

総会最後を飾る「お楽しみ福引き」。提供者の加藤スポーツに感謝の拍手で開幕。目玉はプリンスの張り上がりラケット。全員直筆の氏名投函箱から磯村運営部長が次々に当選者を呼び上げた。

お茶、弁当に始まり、グリップテープ、リストバンド、〈アバンド、ソックス、Tシャツ、ボールバッグなどテニスグッズ。クーラーボックス3人が歓声の中で決まり、さあ、特等・ラケット。一瞬静寂…「稲垣、将樹!」のコール。場内騒然。「うそ!」「八百長!」「辞退辞退!」の大合唱。応えて稲垣、「では辞退。じゃんけん大会で」。「私のイシは堅い」をヒントに会場全員とじゃんけん。パー連続の稲垣に対し、チョキを出し続けた岡野1人が勝ち抜けてラケットゲット!

クイズ3Q

Q1:19年12月現在の協会員数は?

Q2:壮年・レディース大会、壮年の覇者は? レディースの覇者は?

Q3:ATPファイナル、優勝者は?

旭戦 瀬戸30勝17敗 2連勝

ワンチーム 食後、一気スパート

伝統の瀬戸協会ー尾張旭連盟対抗団体戦は11月17日(日)、秋晴れの南ケ丘コートで開催。瀬戸から男子15人、女子9人が出場。男子複、女子複、混合複に熱戦。前半の接戦から瀬戸がリードを広げ、結局30勝17敗で昨年に続き連勝。最近10年の対戦成績を8勝2敗とした。

開会式。整列してあいさつする瀬戸チーム㊧と旭チーム㊨。手前後ろ姿左は瀬戸・稲垣会長、右は旭・庄原会長。左は熱戦の成績表(11月17日・南ケ丘で)

瀬戸チーム

(50音順)

≪男子≫
石川 均
磯村和信
稲垣将樹
江川竜二
川西健太
川西秀夫
近藤峰夫
髙木 順
高木正則
田中和彦
田中 整
服部嘉雅
樋口剛央
三浦正光
森川 繁

≪女子≫
稲垣陽子
浦野優子
加藤ゆかり
加茂冷子
川西育子
髙木淳子
水谷千津留
宮城清美
森みづほ

互角スタート～競り合い～大差

午前9時、南ケ丘コートに両チーム集合。開会式の後、記念写真。9時35分、試合開始。「6ゲーム先取・ノーアド」。午後4時まで・50試合をメド。

開幕4試合は男子複3戦、女子複1戦。瀬戸は八百山・田中整組、磯村・髙木順組、石川・江川組(以上男子複)、浦野・森組(女子複)が先発。まずは2勝2敗の互角のスタート。

序盤は7、8勝の1勝差を争う競り合い。正午前、昼食時間が近づく。例年、弁当後の一気スパートは瀬戸の得意技。「さあ腹ごしらえ」。焼肉、ハンバーグ、から揚げなどよりどり。過去、弁当の差で痛い目に遭った旭は今回も互角の弁当をそろえた。

女複が旭の男複に快勝

前半25戦の結果は瀬戸14勝11敗の3差。高カロリー弁当でエネルギー補給した瀬戸がいよいよ食後の攻勢。3差をグングン広げる。ダメ押しは37戦目。余裕の瀬戸が送った浦野・宮城の女子ペアが旭の強豪男子ペアを6ー2で倒し、旭を意気消沈させた。

瀬戸は終盤も堅実な戦いで白星先行。各人ほぼ4戦。「ポイントアゲッター」も出たが、最終戦を残して29勝17敗。昨年に続く連勝確定。稲垣会長ペアに「気楽なラストマッチ」での華麗な締めを託した。

沸いた最終戦・会長ペア対決

午後3時半、47戦目を最終試合とした。恒例の会長ペア対決。大観衆?数十人が眼前のAコートに注目。

瀬戸は稲垣会長・磯村運営部長の「I・Iペア」。「せめて最後に一矢!」と意気込む旭の庄原会長・山本組と大接戦。序盤、瀬戸がリードしたが旭の急追に遭って4ー4。瀬戸が5ー4としてマッチポイント。取り切れず5ー5。稲垣サーブの最終ゲーム、40ー15として2度目のマッチポイント。磯村のバックボレーがクロスに抜けた!・6ー5。勝数を30に乗せ、有終を飾る見事なショットだった。

旭・山本は「若さ・動きのよさにやられました」と脱帽。

4時5分試合終了し閉会式。

稲垣会長 閉会の辞

『両チーム選手の皆さん、お疲れさまでした。30勝17敗…また勝たせてもらいました。来年は旭会場へお邪魔します。瀬戸は気を引き締めて3連勝をめざして乗り込みますよ』

半世紀に迫る伝統の対抗戦

瀬戸協会ー旭連盟の対抗戦は1974年、旭中学で第1回を開催。以降、中断期をはさんで半世紀近い伝統の一戦。

男子複、女子複、混合複の通算成績を競う。旭・晴丘オープン化で原則の交互会場に戻った。今年は8月の真夏を避けて瀬戸会場。初めて南ケ丘で。

過去、瀬戸は2連敗はあるが対戦成績は大きくリード。勝敗とともに交流・親睦を重視。

旭戦 瀬戸の成績

[年]	[勝敗]
2000	△21勝21敗
2001	○23勝20敗
2002	○23勝19敗
2003	雨で流れ
2004	○25勝14敗
2005	● 7勝 9敗
2006	●14勝22敗
2007	○24勝15敗
2008	○21勝18敗
2009	○26勝21敗
2010	○28勝22敗
2011	○26勝23敗
2012	○26勝24敗
2013	○19勝16敗
2014	●11勝15敗
2015	○26勝20敗
2016	○20勝13敗
2017	● 6勝14敗
2018	○19勝10敗
2019	○30勝17敗

今後の日程

★ 20年 理事会・親睦大会

2月16日(日)午前11時から午後1時まで体育館で理事会。1時～5時はAコートで理事親睦テニス。往復はがきで理事に通知。必ず返信下さい。雨天時は理事会のみ開催。

★ 20年 春季テニス教室

3月1、8、15日の日曜3回。市民公園Aで午前9時～午後1時。市内在住・在勤・在学者または協会員。先着60人。参加費＝1人4,500円。受付＝2月1日～26日。予備日＝3月22日(日)。2月1日付け広報掲載。

★第35回 瀬戸地方高校生大会

3月20(金)・21日(土)市民公園で午前7時～午後5時。瀬戸近郊高校生の単2複1の団体戦。参加費＝1チーム4,000円。予備日＝3月23日(月)。学校関係者に案内。

順 組 2連覇

壮年

壮年・レディース大会は11月24日(日)市民公園で開催。壮年は水野斉・髙木順組(テニス協会)が黒瀬達也・松本直也組を下して2年連続3度目の優勝。レディースは犬飼陽子・大島美香組(ロング・ロング・ロング)が黒川栄子・金子清子組を下して初優勝した。

[壮年・レディース大会 成績]

[壮年の部](出場31組)
優　勝＝水野 斉・髙木 順組
(テニス協会)
準優勝＝黒瀬達也・松本直也組
(フリー)
第3位＝下林直人・足立秀禎組
(楽しいが一番・愛牧)
山口嘉裕・殷 耀晨組
(西山)
[レディースの部](24組)
優　勝＝犬飼陽子・大島美香組
(ロングロングロング)
準優勝＝黒川栄子・金子清子組
(アップ)
第3位＝浦野優子・森山由香組
(JUEGO)
河合利江・寺田ひとみ組
(丸新)

壮年 黒瀬・松本組に快勝 3度目王座

壮年の準々決勝4試合は
▽水野・髙木ー福島・加藤
▽八百山・三浦ー下林・足立
▽酒井・鈴木ー山口・殷
▽岡野・洞口ー黒瀬・松本
水野・髙木の義兄弟ペアは福島・加藤組に完勝。下林・足立組も17年覇者の八百山・三浦組に快勝。3年ぶり2度目Vを狙う山口・殷組は酒井・鈴木組に圧勝。黒瀬・松本組も岡野・洞口組を下して4強入り。

準決勝は連覇をめざす水野・髙木組が巧者の下林・足立組を6ー4で下して決勝へ。黒瀬・松本組も山口・殷組を6ー4で振り切り、初Vをかけて決勝進出。

水野・髙木ー黒瀬・松本の決勝は安定した攻守の水野・髙木が6ー2で快勝した。初戦、冷や汗のタイブレで辛勝した後は堅実な戦いぶりで2年連続3度目の優勝を遂げた。

3決は下林・足立

3決は下林・足立組が6ー2で山口・殷組を下して銅メダルを確保。

レディース 犬・大ペア快進撃V

レディース準決勝は
▽浦野・森山ー黒川・金子
▽犬飼・大島ー河合・寺田
3度目Vをめざす第1シードの浦野・森山組が黒川・金子組に4ー6の逆転負け。同じく3度目王座をねらった第2シードの河合・寺田組も犬飼・大島組に2ー6で敗退。

決勝は、4戦を圧倒的なスコアで勝ち上がった犬飼・大島組と、昨年は長谷川・土居組に敗れて無念のコンソレ回りの黒川・金子組の対戦。犬飼・大島が後方での確実なつなぎと機敏なネットプレーを見せ6ー1で快勝して初優勝。大島自身は12年・河合と組んでの優勝以来2度目。

黒川・金子は初戦の快勝で一気にアップ。3回戦、準決勝を連続辛勝し決勝進出したが初Vには届かなかった。

浦野・森山 3決制す

3決はともに3度目優勝を逃した第1シード対第2シードの対決。浦野・森山組が6ー2で河合・寺田組を下した。

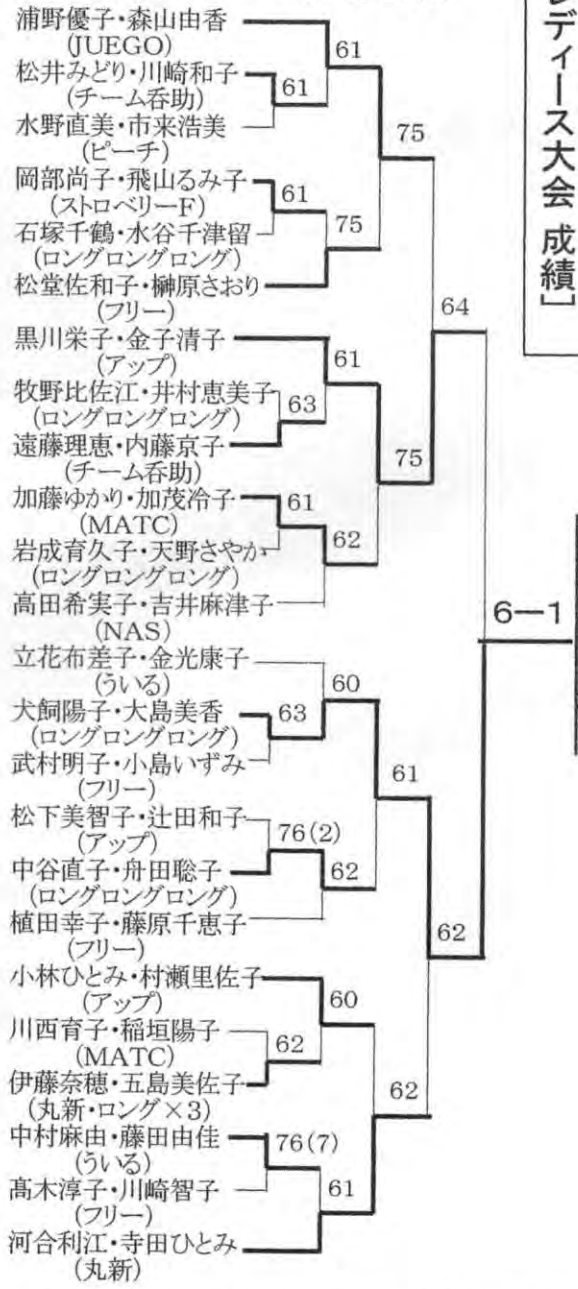
2人の長所 出せた

◆犬飼・大島組の話＝『2人のいいところがたくさん出せて優勝できたことがうれしいです。5試合とも結果的にスコアは開きましたが、内容は競り合いが多く、少しも気が抜けず全力で戦いました。連覇をめざしますよ』

<レディースの部 戦績>

黒川・金子組 躍進の準優勝

レディース 犬飼・大島が初制覇



[3決] 浦野・森山 6ー2 河合・寺田

<壮年・レディース大会>

毎年、『紅葉見る頃』に開催。壮年は男子45歳以上、レディースは女子40歳以上の男女別ダブルス。年齢は当年末現在。ともに先着32組限定。出場料・1組2,000円(協会員は無料)。壮年は人気が高く、毎年エントリー締め切り前に満杯。レディースはやや余裕あり。コンソレもあり、2戦はできる。過去の記録は『桜見る会』と違い、即廃棄しない。1996年以降の記録はあるがそれ以前は不明。今年第何回か判らない。

水野斉・高木

＜壮年の部 戦績＞

［3決］ 足立・下林 6—2 山口・殷

水野・高木 V2

［壮年の部］2年連続3度目優勝の水野・高木組（前左）、準優勝の黒瀬・松本組（前右）、第3位の下林・足立組（後右）と山口・殷組（後左）

［レディースの部］初優勝の犬飼・大島組（前右）、準優勝の黒川・金子組（前左）、第3位の浦野・森山組（後左）と河合・寺田組（後右）

初星…一気に決勝へ

◆黒川・金子組の話＝『初めて初戦を突破して決勝まで行けてよかった。5—5から粘り勝った3回戦、優勝候補を逆転した準決勝…苦しい試合ばかりでした。決勝は残念でしたが、力は出し尽くしました』

「裏」はロング勢

酒井・小林組 石塚・水谷組

コンソレ優勝

初戦敗者によるコンソレは壮年の部、レディースの部ともにロングロングロング勢が制した。

壮年は酒井勝久・小林清成組が川西秀夫・高島基裕組（MATC）に6—2で勝って優勝。

レディースは石塚千鳥・水谷千津留組が高木淳子・川崎智子組（フリー）を下してV。初戦負けの鬱憤を幾分か晴らし、次回「表街道」での活躍を誓い合っていた。

［近年の優勝ペア］

［年］	［壮年］	［レディース］
08	古賀昭一・稲垣将樹	髙木淳子・小笠原まり子
09	横山真和・加藤昌也	髙木淳子・小笠原まり子
10	古賀昭一・稲垣将樹	作石 節・吉村鮎美
11	岩間正人・近藤峰夫	髙木淳子・松原由布子
12	岩崎民男・金川誠二	河合利江・大島美香
13	加藤昌也・三浦正光	作石 節・吉村鮎美
14	加藤昌也・水流 忍	河合利江・寺田ひとみ
15	髙木 順・水野 斉	河合利江・寺田ひとみ
16	山口嘉裕・殷 耀晨	浦野優子・森山由香
17	八百山浩幸・三浦正光	浦野優子・森山由香
18	水野 斉・髙木 順	宮城清美・川口 綾
19	水野 斉・髙木 順	犬飼陽子・大島美香

19年『瀬戸4大大会』回顧

本紙勝手設定の「4大大会」は、春季1部、市民大会一般男子単、市選手権、秋季大会1部の4大会

小林が春季と市選手権を制し2冠

「グランドスラム」4人目争い激烈

春季大会（4月21日）

男子1部
①岩瀬秀之・小林雄太＝前左
②村井清隆・河元優弥＝前右
③原田敦也・中筋孝臣＝後左
高木亘紀・高木　順＝後右

女子1部
①安藤美奈・西尾　舞＝前右
②河合美穂・川口　綾＝前左
③池本麻里絵・井戸田嘉奈子＝後右
大島美香・犬飼陽子＝後左

市民大会（5月2日）

一般男子単
①奥村孝二＝右から2人目
②八百山浩幸＝左から2人目
③酒井将矢＝右端
加藤隆久＝左端

女子4冠なら「ミックス」？

［参考］ミックス大会（6月23日）
①川口　綾・小林雄太＝左
②渡部菜奈美・中筋孝臣＝右
③池本麻里絵・小出真弘
佐藤久義・沖胡美紀

瀬戸市選手権（9月1日）

男子
①小林雄太＝前右
②片岡芳彦＝前左
③和崎省伍＝後左
堤龍一郎＝後右

女子
①宮城清美＝前右
②奥村麻美＝前左
③飛山るみ子＝後右
永田恵子＝後左

秋季大会（10月6日）

男子1部
①原田敦也・中筋孝臣＝前左
②井林知之・佐藤久義＝前右
③加藤智之・日比野有高＝後右
田口俊一・和田祐記＝後左

女子1部
①磯村千沙子・井戸田嘉奈子＝前左
②西堀和恵・土屋菜月＝前右
③浦野優子・森山由香＝後左
岡部尚子・飛山るみ子＝後右

◆男子『瀬戸グランドスラム』は、市民大会出場資格上、市内在住在勤者が可能。過去、菅野英男（写真㊧）・冨士和仁（同㊥）・加藤智之（同㊨）の3選手が達成。4人目に高木順、高木亘紀、八百山浩幸の3人が「あと1のリーチ！」をかけている。女子の設定は現在3冠。グランドスラム（4冠）にするなら、4つ目はどの大会か？検討中。「瀬戸市協会」の名称からすれば男子と同様、市民大会の女子複、実質重視ならミックス大会。

愛知が2年連続4度目V

隣県対決・三重を2−1で下す

第32回全国健康福祉祭和歌山大会「ねんりんピックわかやま2019」テニスは11月初め、和歌山市つつじが丘コートで開催。決勝トーナメントで愛知が三重を下して2年連続4度目の優勝。

70代男子複・60代男子複・60代女子複の団体戦。都道府県・政令都市代表など68チームが出場。1次リーグ3戦の後、順位別トーナメント。

昨年・富山大会で70代男子の高木順(瀬戸)・永野博(旭)組が先鋒で7勝1敗の活躍。3度目の優勝を果たした。

今回、愛知は1次リーグで宮崎、大阪、高知と対戦。いずれも3−0の快勝で1位通過。特に女子は1ゲームも落とさず3戦とも4−0の完勝。

1位トーナメント(進出し、初戦で東京を3−0、長崎を2−1で下して4強入り。広島に2−0で快勝し決勝進出。三重との隣県対決を2−1で制して2連覇を達成した。

昨年リーグ1位でトーナメント進出し、初戦で愛知に敗れた名古屋は今回リーグ2位。2位T初戦で和歌山Cに1−2で屈した。70歳代・名古屋代表の江口選手は「負けて早々に帰つてきてしまいました。愛知2連覇はあっぱれ!。カギを握る女子が強かった」と客観的感想。

試合会場付近は宿泊施設不足か、男子は8人部屋にギュー詰め。女子陣も相部屋だったとか。費用一部負担の選手間の評判は芳しくなかったという。

◆愛知代表3ペア
70代男子＝野々山道雄・竹内美史
60代女子＝寺本協子・西岡正子
60代男子＝林義憲・杉山靖

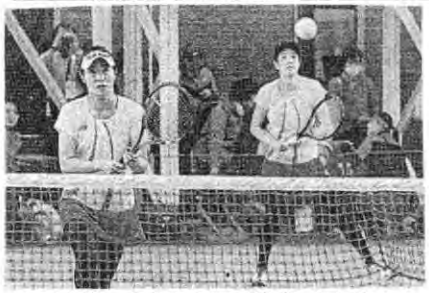
全国レディース 愛知初戦負け

ソニー生命カップ第41回・全国レディース決勝大会(日本テニス協会、朝日新聞社主催)は11月7日から東京都昭島市の昭和の森テニスセンターで行なわれ、愛知は1回戦で京都府に1−2で惜敗した。

各都道府県大会の上位3ペアによる団体戦。愛知の池本＝写真㊤＝は瀬戸の大会で活躍する「JUEGO」の主力。榎谷＝写真㊦＝は昨年の瀬戸・ミックス大会に「a-iのある場所」で出場し準優勝。ともに奮戦したが残念な結果に終わった。

決勝は東京が埼玉を3−0。5年ぶり11度目のV。3決は三重が千葉を2−1。過去、愛知は4度優勝、昨年3位。

◆愛知代表3ペア
疋田由衣・長瀬百合衣組
安部奈保・池本麻里絵組
日比恵都子・榎谷梨香組



1回戦で京都に1−2惜敗した愛知

今年のMIP 本紙選定・最も印象的ピクチャー

優しい先輩 全米注目の女子3回戦、大坂−ガウフ(米の15歳)は、大坂が6−3、6−0で快勝。涙にくれる敗者に「ひとりで泣いてないで、応援してくれた観客に思いを伝えて」とコートでの勝者会見に誘い、2人でインタビューを受けた。全米協会はこれを称賛。大坂に「スポーツマンシップ賞」授賞。賞金はハリケーン被災のバハマに寄付。大坂とガウフは一時期フロリダの同じ練習施設で腕を磨いた先輩・後輩。

デ杯 日本2連敗 リーグ敗退

男子の国別対抗戦・デ杯1次リーグ(11月19〜20日・マドリード)で日本は、前回準Vの仏、世界2位のセルビアと同じ厳しいA組。

仏戦は内山がツォンガに2−6、1−6の完敗。73位・西岡が10位のモンフィスを7−5、6−2で破る金星。最後の複で内山・マクラクラン組がATPファイナル覇者のエルベール・マユ組に7−6、4−6、5−7の逆転で惜敗し、1勝2敗。

セルビア戦は杉田が40位・クライノビッチに2−6、4−6。西岡もジョコビッチに1−6、2−6。複も6−7、6−7で惜敗し0勝3敗。1次リーグ2連敗で敗退した。

セルビア戦、西岡は「再びトップ10を倒すチャンスはある」と意気込んで挑んだが1時間余で完敗。目標の決勝T進出はならなかった。岩渕監督は「錦織を欠く苦しい布陣だが仏戦は勝ち切っても驚きではなかった」と健闘を称えた。

デ杯は今年から上位18か国6組のリーグ戦。各組1位など8チームの決勝トーナメント。単2複1の3セットマッチに短縮。1週間の集中開催。

決勝はスペインがカナダにバウティスタ、ナダルで単2勝。8年ぶり6度目の優勝。来年もマドリードで。

ATPファイナル 伏兵・シチパス初優勝

ティエムを逆転

片手バックの21歳・シチパス

今季男子の年間8強による「ATPファイナル」は高ポイント・高額賞金。2組の1次リーグ3戦後の決勝(11月17日・ロンドン)はシチパス(6番手・ギリシャの21歳)がティエム(5番手・オーストリア)に6−7、6−2、7−6で逆転初優勝。賞金2億8700万円を獲得。

セット率でナダル脱落

リーグA組でナダルはシチパスに6−7、6−4、7−5で辛勝し2勝1敗。3敗のメドベジェフを除く3人が並んだがセット率でナダルは3位。決勝トーナメント進出を逃した。B組は2勝1敗のティエムとフェデラーが進出。ジョコビッチは1勝2敗で脱落した。

最終セットもタイブレ

決勝はティエム対シチパス。準決勝でフェデラーに快勝したシチパスがティエムと大接戦。第1セットのタイブレを6−8で失ったが最終セットのタイブレを7−4で取って逆転初V。

複はエルベール・マユ組(仏)がクラッセン(南ア)・ビーナス(NZ)を下して初制覇。

ナダル 年間1位奪回

全勝優勝なら1500点の高ポイント。今季末ランクを左右するこの8強戦。1次リーグB組で2番手・ジョコビッチが3番手・フェデラーに敗れたため、A組・ナダルの2年ぶり5度目の年間1位が確定。

ナダルは今季全仏、全米優勝を含め4勝。33歳での年間1位は最年長記録。

<1次リーグA組戦績>

	ナ	メ	シ	ズ
①ナダル		○	○	●
④メドベジェフ	●		●	●
⑥シチパス	●	○		○
⑦ズベレフ	○	○	●	

今季大活躍のメドベジェフがカモにされ3敗。3人2勝1敗。ナダルはズベレフに完敗。2勝はともにフルセット辛勝で3位。

<1次リーグB組戦績>

	ジ	フ	テ	ベ
②ジョコビッチ		●	●	○
③フェデラー	○		●	○
⑤ティエム	○	○		●
⑧ベレッチーニ	●	●	○	

ジョコがフェデラーに4−6、3−6で完敗。2勝1敗と1勝2敗に分かれた。1位ティエムと2位フェデラーは直接対決結果。

錦織 来年の目標「五輪が一番」

錦織圭(日清食品・29歳)が11月27日、都内で開かれた東京パラリンピックの聖火ランナー募集のイベントに参加。右肘手術(10月22日)以降初めて公式の場に元気な姿を見せた=写真=。

「今はリハビリをしながら、いい来年を迎えられるよう準備している。来季は東京五輪が一番の目標になる」と意気込みを語った。12月29日で満30歳。リオ五輪ではナダルを破って「銅」。

ラケットを提供するウィルソンは、錦織が来年9月から使用するラケットのデザインを1月末まで公募中。錦織は「想像外のデザインがいい」と期待。

男子世界ランク(11月25日)

1 ナダル
2 ジョコビッチ
3 フェデラー
4 ティエム
5 メドベジェフ
6 シチパス
7 ズベレフ
8 ベレッチーニ
9 バウティスタ
10 モンフィス
11 ゴファン
12 フォニーニ
13 錦 織

東山で愛知連盟杯大会

ATCF杯(愛知連盟テニスクラブ連盟主催)が11月16日、東山テニスセンターで行なわれた。10月19、20日に続く最終日。小学生から60代以上までの計252人が男女別、クラス別に熱戦。男子複は宮本司・高橋識成組が犬飼秀之・水田知則組を下して優勝。

選手団長はテニスの福井

東京五輪の日本選手団団長に元テニス選手の福井烈(つよし・62歳)が就任した(11月26日・日本オリンピック委員会=JOC=発表)。会見で福井は「身に余る光栄で、責任の重さに心が震える。関係者と協力して最高の準備をしていきたい」と抱負。

元デ杯監督で日本テニス協会の専務理事でもある福井は長く選手強化を担当してきたが主要大会で団長を務めるのは初めて。「金メダル30」の厳しい目標には「全ての日本選手が生き生きと自分の夢に挑戦できる環境を整えていく。結果はついてくる」と強気の見通し。

選手団長・福井㊧と総監督・尾県(陸連)

藤井君「王将」挑戦権逃す

広瀬竜王との直接対決で涙

藤井君、広瀬竜王に敗れ王将挑戦ならず

藤井聡太七段(瀬戸市川北町・17歳)が初タイトル・王将挑戦目前で惜敗。最年少戴冠のチャンスを逃した。

王将挑戦者決定戦は7人のリーグ戦。相手6人は羽生九段、豊島名人、三浦九段、糸谷八段、久保九段、広瀬竜王。全て現タイトル保持者または経験者。

藤井君は豊島名人に敗れたが5戦4勝1敗。広瀬竜王と並び、11月19日、両者の直接対決で挑戦者が決まる一大決戦に臨んだ。

最終盤「間違えた!」

対決は中盤まで藤井君劣勢。持ち時間を使い果たし苦しい1分将棋。終盤反撃し、逆転かに思われたが最後に痛恨のミス。激闘126手、再逆転を許す頓死。惜しくも挑戦権を逃した。

「最後に間違えてしまって…これが実力です。もっと力を高めたい」と殊勝な弁。

朝日町 一喜一憂…

瀬戸・朝日町の銀座通り商店街の一角では大盤解説。地元住民たちが盤面注視、一喜一憂――「わが子のように応援しているので悔しい。次へ頑張って」と乾物屋の女性店主。「勝てそうだったのに…。いつにも増して将棋の面白さを見せてくれて感謝」と解説の駒を動かした衣料品店経営者。解説役の元アマ名人戦準優勝の公務員は「うまく粘って見ごたえのある一局だった」と感想。

最年少戴冠の期待

次のタイトル挑戦機会は来年6月ごろの棋聖戦。屋敷九段の最年少戴冠記録・18歳6か月を更新する可能性は大いに残している。

愛知駅伝、瀬戸21位

12月7日の愛知駅伝(54市町村・9区間)で瀬戸は、酒井、荘司の女子2枚看板を欠き21位。3年連続入賞はならなかった。

15日・瀬戸駅伝 走路員ご苦労様

15日(日)は瀬戸駅伝。協会の5人が「ひかり保育園」前で走路員を務める。スタートは10時前後、「パルティ」前。急坂をあえいで登るランナーを励まし、復路は転げそうに坂を下る走者を見守る。

協会は過去男子2部(4人・13.4キロ)に6度出場。53分57秒(20位)の好記録を残す。昨年は故障者続出で棄権。今年も欠場。走路員さん、ご苦労さま。

協会員 頑張った

◆津島若鳩杯40超混複(11月4日)①冨田一行・寺田ひとみ②小麦崎新也・さくら夫妻

◆名古屋グリーン月例女子複GⅢ(11月18日)1位T①三嶋美咲・杉山瞳②河田春美・中根千亜紀 2位T①広瀬里美・手嶋明美②庄原敦子・川内美代子③井手清子・平岩幸子

◆同GⅡ(11月25日)①三嶋美咲・杉山瞳②川内美代子・大島志穂③松永明子・藤田由佳

◆同GⅣ(11月18日)1位T①花井美香・山崎伸子②中川晶己 2位T①山本みすず・箕浦京子②伊藤麻紀・山田美樹 3位T①嬉野秀子・田中孝子②伊東美智恵・松浦真里③高木直美・藤代孝恵

◆女子マスターズ複(11月18日・健康の森)①笹川佳倫・桑原諒子②綾部美千代・佐藤夕子③長瀬百合衣・疋田由衣

3Qの答え

A1:273人
A2:壮年=水野 斉・髙木順組(2連覇)
レディース=犬飼陽子・大島美香組(初V)
A3:シチパス(ギリシャの21歳・世界ランク6位)

アフガン支援 襲った凶弾

中村哲。医師。アフガニスタン支援NGO「ペシャワール会」現地代表。12月11日、車で移動中、銃撃され死亡。73歳。福岡県出身。現地で30年間、医療・井戸・用水路・学校建設などに尽力。名誉市民権を与えられ「アフガンの兄」の異名。03年、マグサイサイ賞授賞。

国鉄民営化「ヤス」死去

中曽根康弘・元総理が11月29日、死去。101歳。群馬。代議士56年。「三角大福中」形成。「風見鶏」。レーガン米大統領とは「ロン・ヤス」。「戦後総決算」を掲げ国鉄、電電公社を民営化。靖国参拝や「浮沈空母」発言で物議。03年引退。

桜と散れ ズル政権

芸能人をサクラに税金で後援会接待。買収だ。追及迫ると即書類裁断し証拠隠滅。疑惑噴出に逃げまくって国会閉会。「桜見る会」再来年またやる?スローガン次々架け替えて「やってるふり」。最長で最悪ズル政権。公文書破棄・隠蔽・改竄の連続。モリ・カケ、秘密法、集団自衛権、辺野古強行、漠買い戦闘機に空母、死の商人育成の武器見本市。商人・トランプに追従。トゥンベリさんや教皇の苦言も届かず。「他にいないから」と身勝手の極み。党も自浄能力なし。もう結構。桜とともに散って頂こう。

ワングルショット

○…中村医師、凶弾に斃れる。かつて自衛隊派遣案に「有害無益。必要なのは武器ではなく貧困解決」と力説。無念、無言の帰国。

○…「壮年・レディース」、水野・髙木の義兄弟2連覇。殷ちゃん組4強。女子は犬飼・大島組が快勝。黒川・金子組健闘の準優勝。

○…旭戦、初めて南ケ丘で。瀬戸強かった。女子陣が稼ぎ頭。ほぼダブルスコアで連勝。来年は旭・晴丘で。軽く3連勝といこうぜ。

○…ATPファイナル、シチパスV。3億円近く獲得。両手バック全盛の中、力強い片手。ナダル、ジョコ枕並べてリーグ討ち死に。

○…総会を終え、今年も暮れる。来年は東京五輪。皆様よいお年を。(業務理事 会報担当・近藤)

STKニュース

瀬戸市テニス協会・業務部発行の会報。原則隔月。1975年(昭和50年)に創刊。98年から定期刊行。第10号まで梶田俊幸・元理事が制作。2000年・第11号から理事・近藤が編集。発送とともに協会ホームページ掲載。

次号は「高校生大会」後